

歴史的風致形成建造物 指定台帳

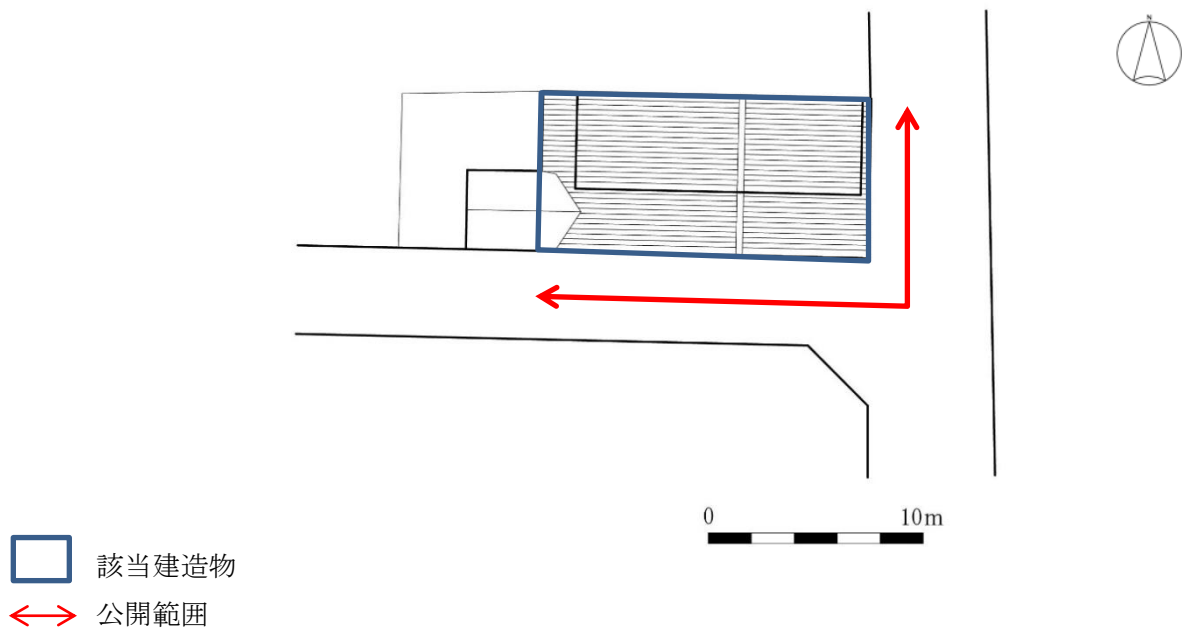
指定番号	29	名称	花澤家住宅
指定年月日	R3.3.29	所在地 (指定地)	中辻町 77 番地 3
指定建造物	主屋	建築年代・概要	大正時代 木造二階建、切妻造、平入、棧瓦葺
位置 ・ 歴史	<p>奈良町南部の市内循環道路の南に位置する中辻町は、大和盆地を南北に縦断する上街道沿いの町で、古くから伊勢参りや長谷寺詣、大峰登山へ向かう人々の往来で賑わった。</p> <p>上街道に東面した敷地で、南側は近年の宅地開発の際に敷設された道路に面する。前面道路に面して主屋、奥に渡廊下が建つ。建物は大正13年に登記されており、主屋は形式技法等からこの頃の建築とみてよい。渡廊下は昭和50年代頃に建替えられたものだろう。所有者は何度か変わっているが、改修状況等から建築以来住宅として使用されてきたとみられ、平成30年に現所有者が住居とするため購入した。</p>		
建物特徴 ・ 改修履歴	<p>主屋は木造二階建、切妻造、棧瓦葺の町家で、北側2間の居室部を本二階建とする。南側2間弱の土間部は落棟とし、庇を付けず居室部正面の庇と一連に大屋根をかける。外観は、昭和50年代頃に土間部のガレージ化に伴い折戸と格子戸が設けられていたが、令和2年度の修理で、近隣の類例に倣って側柱の半間奥の柱筋に戸口を設けた。また、居室部は昭和40年代頃の改造による木製格子付の腰高窓が付くが、現状通り修理している。2階は木製建具に整備した。南面は杉板張りで、小窓を設ける。内部は通り土間と1列4室の構成で、2階は中廊下前に2室、後ろに1室設ける。</p> <p>居室部は、昭和40年代頃に表の部屋、昭和50年代頃に2階、昭和末以降に座敷と縁を改修し、それぞれ外観も改修している。1階中央2室は差鴨居や大引天井が当初の空間構成をよく伝える。正面1階は当初は現状よりやや低い位置に腰高窓があったことが柱の痕跡からわかる。南面は近年道路が設置された頃に現状のようになったとみられる。</p> <p>改修履歴) 昭和40年代頃：1階表の居室の洋室化とその正面外観の改修、昭和50年代頃：2階居室とその外観の改修、土間の改修、附属屋の建替、昭和末～平成：1階奥の座敷の改修、土間正面外観の改修、南面外壁と窓の改修、令和2年度：屋根葺替、戸口整備、外壁塗替他</p>		
活用	住宅として活用		
価値	<p>旧街道に面する町家で、奈良の町家における人々の営みが、歴史と伝統を継承しつつ、時代に応じた変化を受け入れ、現代まで続いてきたことを示し、奈良町の町家の暮らしにみる歴史的風致の維持と向上に寄与する。</p>		



歴史的風致形成建造物 指定台帳



付近見取図



配置図